

# 枚方の初詣と淀川の河川公園 (第79回くらわん会 2003/01/07)

2003年未年新春のくらわん会は、地元枚方の初詣と淀川の河川公園を歩く会で幕を開けました。前日までの厳しい寒さが、ほんの少し緩んだ1月7日、集合場所の京阪 枚方市駅に128名の元気な顔が集いました。会員の皆さんは、コンコースでの受付を済ませるやいなや、暖かい日差しを求めて外の通路に出て、新年の挨拶や、お正月の話題で、思い思いに笑顔の輪をつくりました。

定刻の10時、原会長の元気な挨拶に始まり、今回は、5名もの50回表彰を含む多数回参加者の表彰、新参加者の紹介と続き、高濱世話人から歴史を含めて本日のコースの詳しい説明があって、早速、旧田中家址の棕の木を目指して出発しました。

大阪方面に向かって数分歩き、別子山址の教会を左に見て少し坂道を登ると、崖際にそそり立つ大木が目につきます。大阪府の天然記念物に指定されている棕の木は、河内の鋳物師として代々鋳物業を営んできた田中家の工場の横にあった大木で、その葉は鋳物の磨き出しに使われていました。樹齢600～700年と言われ、幹周り約5mもあり、寒空に堂々とその枝を広げており、参加者は、その威風を見上げたり、胴回りに近づいてその大きさを確かめ、枚方にもこんな所があったのだと感心していました。

森重久弥氏の生家跡といわれる大きな屋敷の前を通り過ぎると、すぐに意賀美神社に着き、初詣の参拝をしました。この神社は淀川を一望できる小高い山の上であり、言い伝えによると、その昔、推古天皇の時、高麗の僧惠灌が、この地の風景の勝れているのを愛で、山の木立や川の流れが唐の林岸江に似ているとして、草庵を建て、万年寺としたのが始まりで、一千年余りの法灯を伝えてきました。明治の神仏分離令でとりはらわれ、その跡に式内意賀美神社が地域の数社を合祀し建立されました。表参道の石段横に「長松山万年寺」と刻んだ標石や先端の崩れた十三重の塔が苔むしており往時を偲ばせてくれます。万年寺の本尊など

集合場所の京阪枚方市駅ビル、1993年に高架化されて現在の姿になった

よく整備された京阪電車高架橋を大阪方向に出発

河内の鋳物師田中家の工場横にあった、樹齢700年の天然記念物指定の棕の木、葉は鋳物の磨き出しに使用

推古天皇の頃、高麗の僧惠灌が密教寺院万年寺を建立、千年余りの法灯を伝えてきたが、廃仏毀釈で取り払われ、式内意賀美神社が地域の数社を合祀し建立





ふるさとの氏神、式内意賀美神社に初詣をしました



境内には25年ほど前に植えられた梅林や、淀川や枚方宿が一望できる〇丘に秀吉の茶屋御殿址がある



万年寺山を下り京阪高架を越えた所に枚方宿の本陣址がある



淀川河川公園の三矢地区に出て、よく整備された冬の水辺公園を散策

は、枚方宿の浄念寺に保管されています。

万年寺山は枚方小学校の校庭として使われていた時、古墳の発掘調査がされています。境内には25年ほど前に植えられた梅林があり、淀川や枚方宿が一望できる秀吉の茶屋御殿址があります。

万年寺山を下り、枚方宿の陣屋跡を通り淀川河川公園の三矢地区に出て、よく整備された冬の水辺公園を散策しました。桜町の信号を渡って一旦淀川を離れ、水面廻廊に到着して小休止をしました。ここには、以前この近くで淀川の水を取水し、北河内一

帯の田畑を潤したり、水害を防いだ合同樋門の記念碑があります。今はよく整備された公園になり、三十石舟を模した小舟が配置されて風情があります。

マンションが聳え立つ西禁野のスーパー堤防に出ると、京街道の松並木が復元されようとしています。少し下流の河川公園出口地区の広大な広場で、少し寒いながらも明るい日差しの下で弁当を広げました。

午後は、蓮如上人が創設した光善寺近くの昔ながらの街道を進み、国道一号線の地下道を潜り抜け、京阪光善寺駅の跨線橋を越えて、これまた由緒深き天満宮に到着、お参りをしました。この神社は、菅原道真公が太宰府に御左遷の途中この山にて休息 京の都の方を望み名残惜しまれた所からこの地を菅相塚と称し、都に残った菅公のご息女荊谷姫が別れを惜しみ跡を追ってこの地までこられたが逢えず悲嘆足摺された旧跡です。境内の、おみくじを結んだ紅梅には、つぼみが膨らんでおり、寒い中にも春近しを思わせていました。 富田朝己記

桜町信号横にある郵便屋の渡し跡の記念碑、明治時代に鉄道が開通していた対岸に郵便物を運んだ





巨大マンションが並び西祭野のスー  
パー堤防下の河川敷道路を出口地区に  
向かう



昼食休憩を終えて光善寺近くに向か  
う



さだ神社に到着、御手洗所で清める



菅原道真公が太宰府に御左遷の途中こ  
の山にて休息、息女荊谷姫が跡を追っ  
たが逢えず悲嘆足摺された旧跡



水面回廊には合同樋門の記念碑があ  
り、整備された公園に三十石舟の小  
舟が配置され風情がある



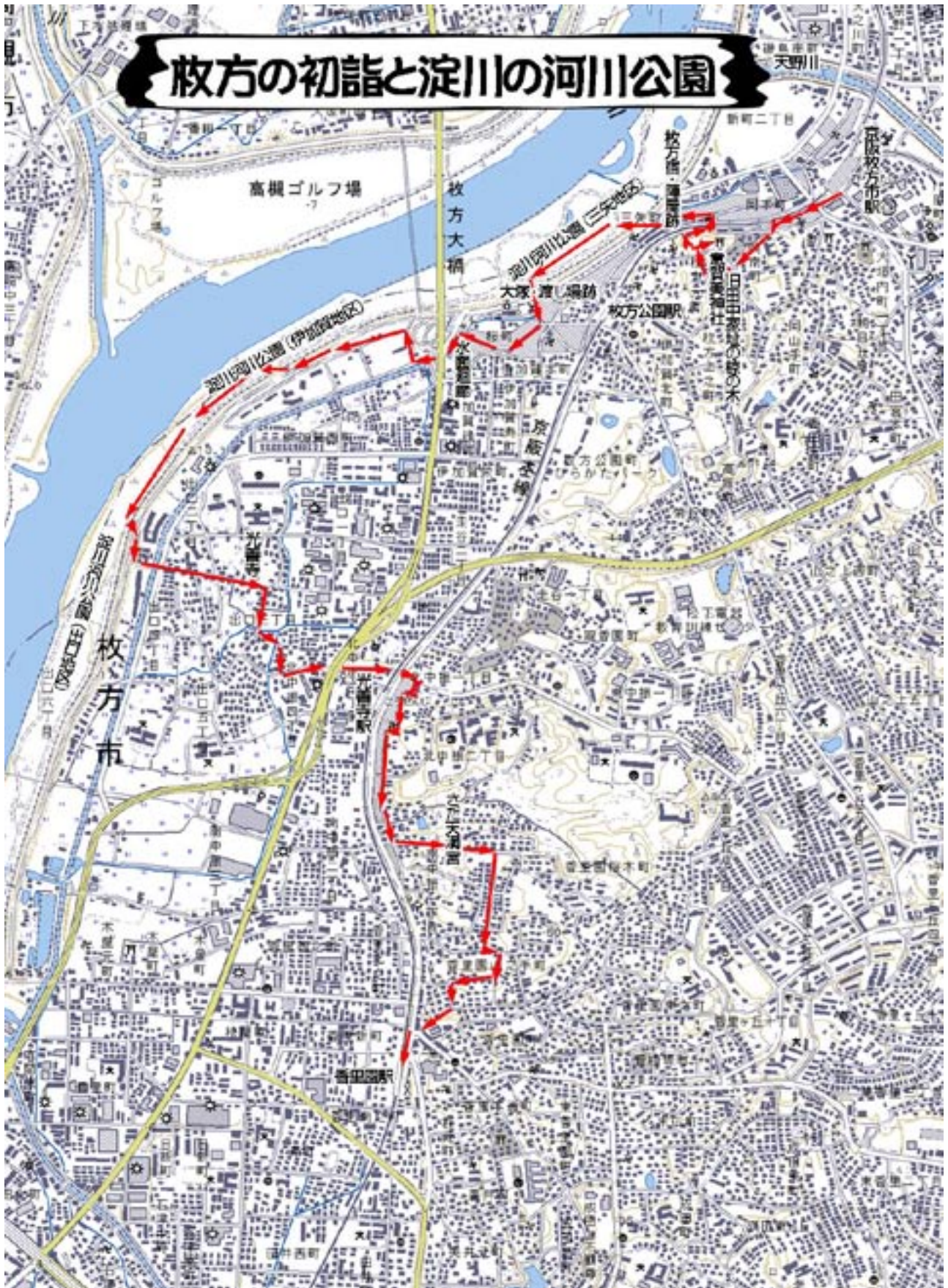
淀川河川公園・出口地区に到着、思  
い思いに弁当を広げる



地下道をくぐって一号線を横断し光善  
寺駅に向かう



雰囲気の良い階段を上りきるとさだ天  
満宮本殿がある



<行程>

京阪枚方市駅⇒旧田中家址の棕の木⇒意賀美神社⇒三矢公園（枚方宿・陣屋跡）⇒淀川河川公園（三矢地区）⇒桜町信号（大塚・渡し場跡）⇒水面廻廊⇒淀川河川公園（出口地区）⇒京阪光善寺駅⇒さだ天満宮・解散⇒京阪光善寺駅又は香里園駅へ 約7 km

2003年01月07日（火）第79回例会 128名参加